

食品の安全基準 ～日本と海外～

現在、日本は様々な食品を海外から輸入しています。
ところが、日本と海外で食品の安全基準が違うことがあります。
日本と海外の食品の安全基準を見ていきましょう。



ねえ、おとうさん
この前の海外旅行で食べたお菓子、
日本で売っていないの？

そのお菓子は日本の食品の
安全基準にあわないから、
売っていないんだよ



えっ！？日本と海外で食品の
安全基準って違うの？

じゃあ、世界の食品の
安全基準を調べてみよう



日本の食品の安全基準

食品衛生法に基づき「食品、添加物等の規格基準」が定められています。
この「食品、添加物等の規格基準」は様々な食品の成分の規格や製造、保存などの基準
を定めています。

また、食品添加物についても、どの食品にどのくらい使用してよいのか定めています。
日本国内では、この規格基準にあっていない食品は流通できません。



主な食品安全の基準（法律）



いろいろな国や地域で食品の安全基準が定められているんだね

世界各国では科学的根拠だけではなく、食文化、食生活の違いなど様々な視点から食品の安全基準を設定しているんだよ



食品の安全基準の国際的な流れ

世界保健機関（WHO）と国際連合食糧農業機関（FAO）はコーデックス委員会という組織を作りました。

コーデックス委員会は、日本を含む 180 以上の国と地域が加盟しており、消費者の健康を保護するとともに、食品の公正な貿易を促進するため、国際基準を作っています。

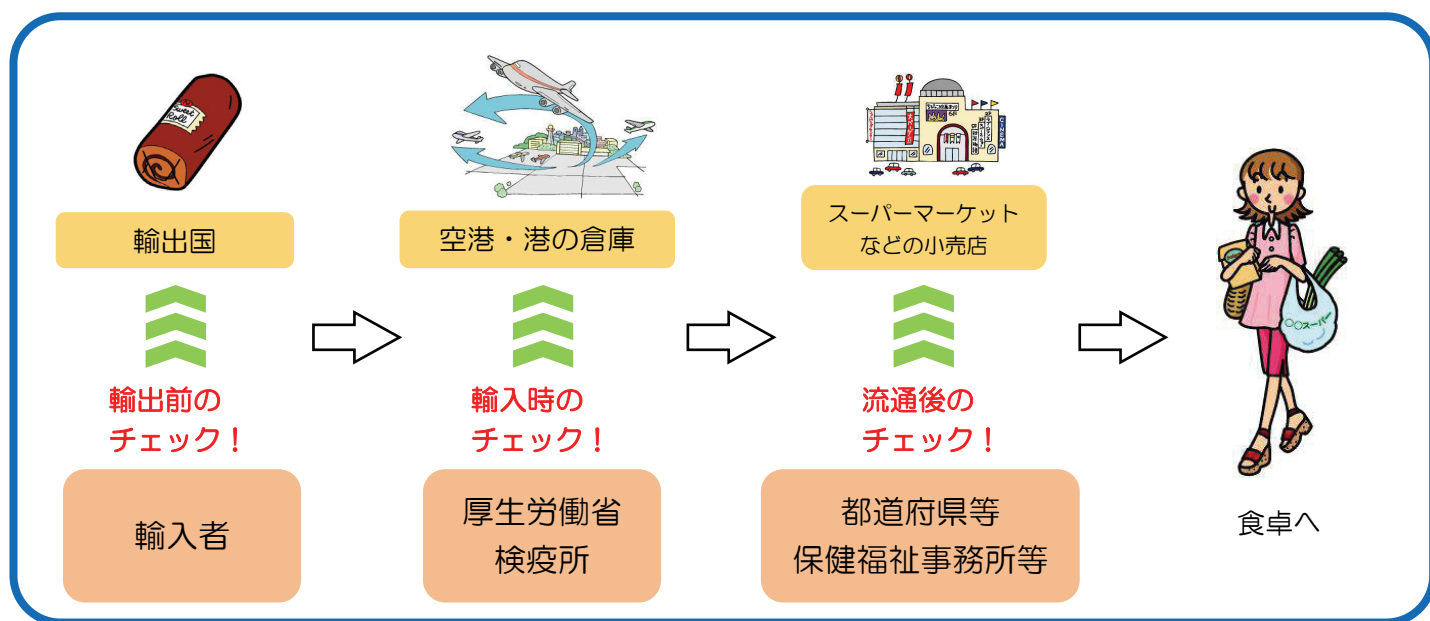
各国は、自国の食品安全基準がこの国際基準に調和するよう取り組んでいるところです。



海外から輸入される食品が日本の基準にあっているかどうかやってみるの？



日本の基準にあうかどうか、チェックしているんだよ
どうやっているか見てみよう



もし、違反になったらどうするの？



輸入時は検疫所がチェックし、国内流通後は保健福祉事務所等が、お店で販売している輸入食品の抜き取り検査をしているよ



日本の食品の安全はしっかり守られているんだね



違反になった食品は回収、廃棄されて、お店に並ぶことはないんだよ。